

2017年 主な規則の変更点

① 参加資格の追加

日光サーキットをドライ路面でラップタイムが 60 秒以内で走行できること。

② 使用できるタイヤ幅に制限を設けます。

使用できるタイヤは一般市販のラジアルタイヤ(Sタイヤの使用禁止)とし、メーカー出荷時に搭載されたエンジンの排気量を基準に 1500cc 未満が幅 205 サイズまで、1500cc 以上が幅 225 サイズまでとしホイール径は自由とする。また、取り付けたタイヤ及びホイールがフェンダーよりはみ出してはならない。

※ 排気量アップおよびエンジンスワップによるタイヤ幅の変更は一切認めないものとする。

③ オープンカー(ルーフを開けた状態)でレースに参加する場合の装備を変更します。

2017 年から日光サーキット四輪スポーツ走行で採用されるオープンカー規定に準ずる。

※ 詳しくはオープンカー規定をご覧ください。

走行規定の補足

- 見舞金制度に非加入の者が、ピット作業・給油作業に携わることを禁ずる。
- ピット・ピットロード及び給油エリアでのリバースギヤの使用を禁ずる。
- ピット内の停車はいかなる場合でも必ずエンジンを停止させること。
- ドライバーチェンジとは下車したドライバーと次に乗車するドライバーが異なることを言う。
ピットまで運転してきたドライバーが、いったん車外に降り再び乗車することはドライバーチェンジとは認めない。
- 1回のピットインで使用できるのは、自チームのピットエリアか給油エリアどちらか片方とする。
給油後にコース復帰せず、自チームのピットエリアに停車することを禁ずる。
- 後続車に進路を譲る際は、自身が進路を変更する側に方向指示器(ウインカー)を出すこと。
- 決勝レース中、自チームのピット内に燃料を保管することを禁ずる。
- 給油時にジャッキアップや車体を揺らす等の行為は禁止とする。必ず四本のタイヤが地面に設置し車体が水平な状態での自然給油で行なうこと。
- フォーメーションラップ時は、著しく隊列を乱すことや追い越しは禁止とする。前車との間隔をできる限り詰め隊列を整える事を心がけてください。
- 走行中のハザード使用は原則認めない。ただし下記の場合は使用を認める。
※ 車輛トラブル等により正常な走行が困難な場合は、ピットに戻るまでハザードを点灯し走行すること。
その際、他の走行車輛の妨げにならないよう走行ラインを避けることが望ましい。
- 車輛トラブル・コースアウト等によりオフィシャルの引き上げが必要な場合、意思表示すること。
意思表示→ ハザードを点灯させ、大きく手を振るか、ヘルメットを被ったまま、速やかに安全な場所まで避難すること。(円滑なレース進行の為、速やかな意思表示をお願いします。)